１そして、バトンは渡された（瀬尾まいこ）

―血のがらない親の間をリレーされ、四回も名字が変わった高校生の森宮優子は、「浜坂君」の勧めで球技大会の実行委員をつとめた。その後、「浜坂君」は……

「俺、告白するのやめとくわ。」とついでのように言った。「え？」「森宮に告白するって意気込んでたけど、やめにする。」「そうなんだ……。」別に告白されるのを心待ちにしていたわけではないけど、そう言われると拍子［　Ⅰ　］する。一緒に実行委員をしている間に、たいしたことのないやつだと判定されたのだろうかと気にもなった。

「いいところ見せられなかったし。」①どうしてか聞こうとした私に、浜坂君が言った。

「いいところ？」「そう。ドッジボール、俺の二組Ｂチーム最下位だろう。」「ああ、確かに。」「森宮のチームは優勝だったのにな。」「私は何もしてないけどね。っていうか、いいところ見せるって、まさかドッジボールで勝つことだったの？」

「まあ、そうなるだろうな。」浜坂君は、②すいすいとンボを動かしながら言った。

［　Ⅱ　］がいいところだなんて違う気はするけれど、だからと言って、何を見せられたら好きになったのかというとわからない。そんなことを考えながら、器用に土をす浜坂君の横で、ずるずるトンボを引いていると、

「でも、また実行委員とかさ、一緒にやろうぜ。森宮とやるのって楽しいし。」と浜坂君が声の調子を上げて言った。

「私、あんまり得意じゃないんだけど。みんなの前に立ったり、まとめたりするのって。」「俺も。」「うそ。浜坂君はお調子者だから、……いや、その、元気だから、向いてると思うよ。」

「時々思うけどさ。」「何？」「森宮って、ちょくちょく言葉の選び方間違えるよな。」浜坂君はけらけらと笑った。

「いや、父の影響で……。あ、でも、［　Ⅲ　］って、明るくっていいってことだよ。ほめ言葉だよ、たぶん。」③それはきっと毎晩、（今の父親の）森宮さんと話してるせいだ。私は必死で言い訳をした。

「お調子者だけど、俺小心者だから。」「そうかな？」「そうだよ。だから、こうしてトンボ引いてる。」

「そっか。うん。私もトンボ引く係ならまたやってもいいかな。」「トンボ引く実行委員なんてないから。森宮って、とぼけてるよな。」浜坂君はまた笑った。

「いや、これも父の影響で……。」と言いかけて、「頭はいいんだ。」と常々主張している森宮さんを思い出した。

だとしたら、とぼけてるのは、どの親の影響だろう。そう考えると、私もなんだかおかしくなって笑えてきた。

＊語注

＊トンボ…Ｔ字型の整地用具。

問１　［　］Ⅰに入ることばとして、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　取り　　イ　抜け　　ウ　掛け

問２　―線部①について、何の理由を「聞こうとした」のか。文中のことばを使って答えよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕理由

問３　―線部②について、「すいすいと」は、どんな様子をいったものか。文中から抜き出す形で七字で答えよ。また、「すいすいと」と対極的な表現を文中から抜き出して四字で答えよ。

▽どんな様子　＝〔　　　　　 　　　〕

▽対極的な表現＝〔　　 　　　　〕

問４　［　］Ⅱに入る、「勝つこと」の意になる漢字二字のことばを答えよ。

〔　　　 　〕

問５　［　］Ⅲには、「選び方」を「間違え」たことばが入る。そのことばを文中から抜き出して答えよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

問６　―線部③が指す事柄を具体的に答えよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〕

問７　「四回も名字が変わった」という「私」の境遇がうかがわれる部分を文中から一五字程度で抜き出し、最初の七字を答えよ。

〔　　　　　 　　　〕

【解答】

問１　イ

問２（例）告白するのをやめた〔理由〕

問３　▽＝器用に土を均す

　　　▽＝ずるずる

問４　勝利（優勝）

問５　お調子者

問６（例）（ちょくちょく）言葉の選び方を間違えること。

問７　とぼけてるのは

ポイント

問１　拍子抜けする＝張り合いが抜けること。

問３　すいすいと＝器用に、軽快に、ことが運ぶさま。

　　　対極的な、能率のあがらないさま＝重そうな「ずるずる」

問７　「どの親の影響だろう」と考えるのは、親が複数いたことが前提である。